



介護のICT化と今の現場について

2/5（水）の栗山と福祉は北海道介護福祉学校で実施しました。はじめは（社福）南幌福祉会様から講師を招いて専門学校生とともに、「**介護の現場の今**」を教えていただきました。今なおある介護の仕事に対する固定観念。**以前は給料が安くて、きつい、汚いのイメージが強かった**と思います。しかし、**どんな仕事でも「きつい」のは変わりません！**よく考えてみるとそうですね？「お金をもらう」ということはきついことなんです。

そして、高卒求人を見てみても**給料の高いランキング上位は…**

「建築」・「福祉」なのです！最近ではどちらも**20万台が多い**。しっかりとした情報を得て、自分の進路を考えていくことが大事です！**介護の知識をまとめている人は「普段から困っている人に声をかけられる」**という素敵な言葉をもらいました！「栗山と福祉」を学んだ皆さんに目指してほしい将来像！さて、みんなはどんな仕事を選ぶかな？

今は広い施設の「距離」をなくすために、センサーで利用者様の体調をモニターで管理したり、インカムで常時連絡を取り合ったりしているそうです。すぐに無理なく対応できるような体制が整っているそうですよ！



後半戦は、各クラスに分かれて、介護ベッド関連の用具を触ってみたい、最新車いすの体験やそれぞれの違いを考えたり、床ずれしないよう分圧するためのビーズクッションの使い方などの体験をしました。

以下、生徒の感想より抜粋↓

初めて介護用リフトを操作してみたけど、操作は意外に簡単だと感じた。その分、一回いっかいの操作の中で利用者の方に対して注意しなければいけないことや、気を遣ってあげなければいけない瞬間が多くあり、個人的に少し緊張するなと感じた。



実習で使った普通の車椅子だけではなく、背もたれが一番下まで下がるものや、長時間座っていても体が痛くなりにくい素材が使われているもの、部品を解体し軽自動車にもつめるタイプのものなど、たくさんの種類があり、勉強になった。

その他にも、滑って車椅子に乗る際に使うスライディングボードやスライディングシート、室内用の歩行器、外出用の歩行器など、まだまだ自分が知らなかった介護器具、その使い方などを知ることができた。



1 年生で実践したことを次の学年でも活かせるように、まとめておきましょう！